

駅伝部通信

令和3年11月16日

駅伝部顧問 木下泰之祐

<令和3年度 弓ヶ浜中学校駅伝部成績>



○西部地区大会 10月13日(水) 東山公園周回コース

男子の部 第19位 68分02秒(相見、門岡、森永、松本、横井、木井)

女子の部 第2位 47分23秒(中嶋、林、田守、小椋、楠本)

タイムトライアル 男子1年(福田 14位 岡田 32位) 2.3年(三浦 5位 米田 25位)

女子(大森1位 松本ゆ 13位)

○県大会 11月11日(木) ヤマトスポーツパーク周回コース

女子の部 第7位 47分18秒(中嶋、大森、知久馬、松本あ、楠本)

タイムトライアル 女子(林8位)



<令和3年度の駅伝を終えて>

今年も4ヶ月という長く熱い駅伝が終わりました。みなさんの心には、どんなものが残ったでしょうか？辛く大変だった練習、選手に選ばれたこと、選ばれなかったこと、本音で語り合ったミーティング、レース前の不安や緊張感、走り終えた後のやり切った気持ち、悔しかった気持ち……その時にしか味わうことができない思い出があります。駅伝の中でしか流せない涙や汗があります。

それが、かけがえのない貴重な思い出になっていることを願っています。

駅伝を通して、私たちは常に3つの目的を意識してきました。

「仲間を大切に1つのことをやり通す」「感謝の気持ちを持てる人間になる」「心を成長させる」

大変な4ヶ月を通して、この3つのことを達成できたのではないのでしょうか。

男子は、近年、3位、2位、3位という好成績を残しているプレッシャーがあったと思います。

その中で、3年間の駅伝を5名もの選手がやり通すことができました。特に、西部地区秋季大会直前に、1、2年生不在の中で自主的に練習に取り組む姿は、これまでの弓中にはない姿です。自主的に活動することこそ、本物の「駅伝をやる生徒」の姿です。この姿が来年以降に引き継がれていくことを期待しています。

女子は、これまでは県大会出場することも難しかったチームでした。しかし、今年、ついに本気で優勝を狙うチームにまで成長しました。

「1年前から優勝する姿を思い描き練習していた」というキャプテンの言葉をはじめ、熱い想いを持ち本気で練習に取り組んできた人が、周りの人を巻き込み、13人の絆の深いチームを作りました。そして、謙虚に一生懸命に練習に取り組むみんなの姿は、応援してくれる人を増やし、学校や地域までも盛り上げてくれました。結果は、西部地区2位…そこから、堂々と胸を張れる県大会7位。数字以上のものをみんなからもらいました。来年こそ、西部地区の優勝旗を学校に持って帰りましょう。

この駅伝を、3年間最後までやり通すことができた選手が、男子に5名います。

「駅伝を走る」ということは、勉強や部活、遊びなどの「自分の使える時間」を他の人よりも削り、駅伝に費やすことです。さらに、走り続けることは辛く大変です。

そんな駅伝を最後までやり通せたのは、支え・励ましてくれた人がいたからでないでしょうか。

一緒に走った仲間、応援してくれた学校の仲間、先生、卒業生、地域の方、一番近くで支えてくれた家族。みんながこの夏走ったことは、いろいろな人との繋がりを深めたと思います。全ての人への感謝の気持ちを忘れず、来年につなげていきましょう。